

海外安全対策情報
2018年7月～9月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

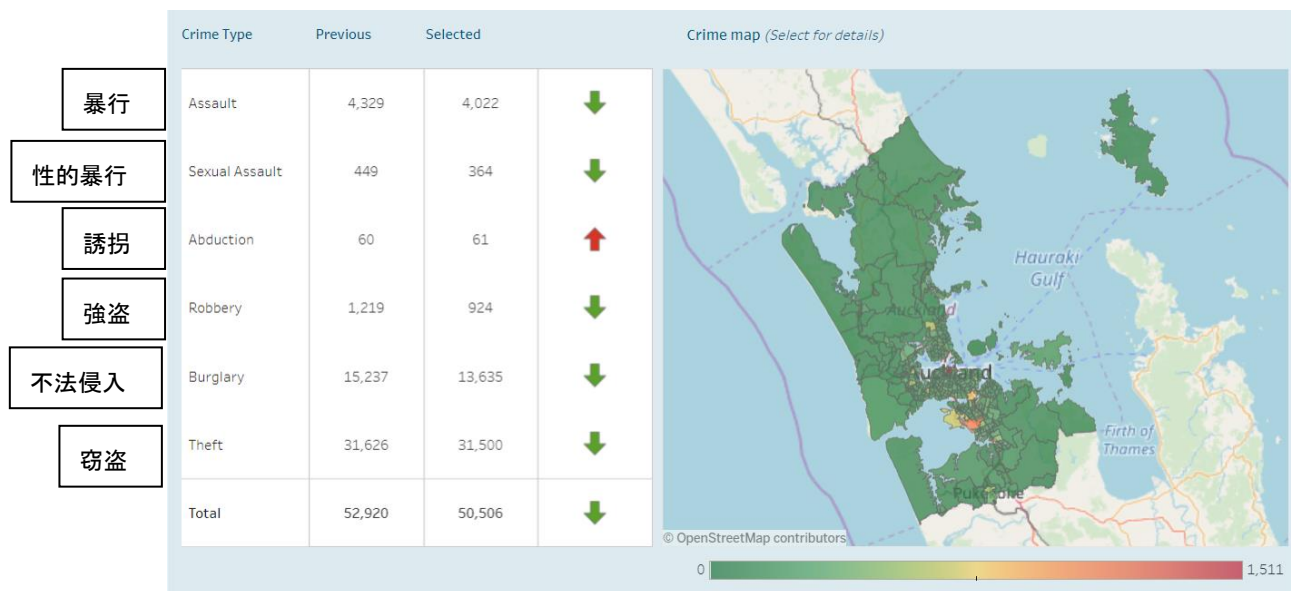
(1) 一般治安関係

NZ国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。

しかし、NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、争いに巻き込まれることのないよう繁華街等では、特に注意してください。このほかNZ国内での覚醒剤押収量が前年比3倍増となるなど、薬物汚染が社会問題化しています。NZ政府は治安対策強化のため今年度内に1,800名の警察職員増員を決定し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(2) オークランドの犯罪傾向

2017年9月～2018年8月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。



<https://www.police.govt.nz/crime-snapshot>

(3) 地図で見る犯罪発生件数

2016年6月10日、NZ HERALD紙はウェブサイトにて「地図で見る犯罪発生件数」を掲載しました。下記リンクにアクセスして、あなたがお住まいの地域の状況をチェックしてみてください。

<http://insights.nzherald.co.nz/article/assaults-in-public-places>



2 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、2014年11月、ジョン・キー首相（当時）はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。

(2) ニュージーランド政府は2015年2月にイスラム過激派組織ISILと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しました。これに関連して、キー首相は「すでにISILはニュージーランドで要員のリクルートに成功しており、またニュージーランド国内では35~40名が監視対象となっている」旨発言しています。

(3) 2015年11月にパリで発生したテロ事件を受け、キー首相は次のように述べています。

「ニュージーランドは他国から地理的に離れていること及びインテリジェンス監視ネットワークに加盟していることもあり、他国と比べ、テロリストから攻撃を受ける脆弱性は低い。しかしながらテロリストの間で行われる精巧な通信技術の高まりにより、その活動

を探知することが困難な状況となっており、ニュージーランドがまったく影響を受けないという保障はない。政府はニュージーランド国民に対して、全力を尽くす責任を負っており、異常で不相当と考えるいかなる行動についても監視するが、その全ての情報を得られるという保証はない。」

(4) また、「NZの大学で工学を学んだ留学生が、海外で自爆テロ用の爆弾を製造していた」、「アメリカ政府が中東在住のニュージーランド人を国際テロリストに指定した」といった報道もみられます。

(5) なお、現在ニュージーランドのテロ脅威度は「とても低い(6段階中下から2番目)」から「低い(6段階中下から3番目)」に一段階上昇しています。

3 ニュージーランド警察からの発表「警察官増員」

警察は2018年の予算の増加に伴い、1800名の警察官および485名のサポートスタッフを増員することになりました(オークランド管轄地域の配置は下記のとおり)。

また警察は世界で一番安全な国を目指しており、数年以内に全国12地区警察署の増員を行い、国民がより安全で安心な生活ができるよう取り組むとしています。

Northland - 87名

Auckland - 102名(15名は配置済み、87名はCBDに配置予定)

Waitemata - 107名(Warkworthは24時間体制に)

Counties Manukau - 137名

Waikato - 127名

Bay of Plenty - 125名

4 当地の主な事件・事故

(1) 新車の詐欺にご注意を

ニュージーランド警察は今年6月の新聞広告に記載された詐欺広告に注意するよう呼びかけている。この広告は、エナジードリンクのシールを希望者の車に張る代わりに、謝礼として毎週500イギリスポンドを支払うというもの。

イギリスからセットアップ費用として6500ポンドの小切手が希望者に郵送されますが、受領した後は指定口座に入金しなければいけないなどの指示が加わり、最終的には送付された小切手は無効となって、希望者はお金をだまし取られるという仕組み。

同警察は実際の被害は未確認としながらも、小切手を受け取った場合、銀行へ持っていかず、直ちに近くの警察署まで報告するように呼びかけています。

(2) e-mailによる詐欺

e-mailの内容は、「パソコン上の情報を抽出できるソフトウェアをあなたのデバイスにインストールした。これであなたのパスワードなど個人情報が解明できる。他人に知られたくなければお金を支払うように」という詐欺まがいの文面。

警察によれば既にお金を支払った被害者もいるとの事。

警察はこのようなメール、電話等を受けた場合は Ministry of Consumer Affairs (<http://www.consumeraffairs.govt.nz/scams>) のウェブサイト上に掲載されている詐欺のリストを確認するか、直ちに近くの警察まで報告するよう呼びかけています。

(3) オークランド市内 Remuera でのひったくり事件

事件は 3:45pm 頃、Remuera のスーパーマーケット駐車場で発生。

80 歳の女性に男が近づき女性のバックを奪い取ろうとした際、女性は地面に頭を強く打ちました。男は待っていた車に乗り逃走しましたが、Eagle Helicopter により逃走した車を発見し運転していた 25 歳の女を逮捕しました。逃げた男は現在も逃走中であり、警察は市民からの目撃情報を集めています。

被害に遭った女性はオークランド病院に運ばれましたが、命に別状はなかったとのことです。

5 日本人が巻き込まれた案件

場所 ニューマーケット 路上駐車場

被害者 日本人男性 (30代)

運転席の下、見えないところにカバンを置いていたが、車上荒らしに遭いバックを盗まれる。パスポートその他が被害に。

場所 オークランド戦争博物館

被害者 日本人女性 (20代)

入館時に手荷物をロッカーに入れ施錠。退館時に荷物をピックアップしようとしたところ、ロッカーの鍵が開いており荷物が全てなくなっていた。パスポート、財布、クレジットカードなどが被害に。

以上